

研究課題名: 小児およびAYA世代における横紋筋肉腫の予後因子解析研究

目的・方法:

本研究では、小児およびAYA世代に発生する横紋筋肉腫の臨床データを後ろ向きに解析し、予後因子を明確化することを目的としています。従来の治療成績に基づき、倫理的な観点から患者の利益を最大化する研究デザインを確立し、得られたデータをもとに将来の治療法改善を目指します。横紋筋肉腫に対するより効果的な治療戦略の確立と、治療成績の向上を目指し、臨床への展開を促進します。

研究概要:

【対象】

小児およびAYA世代がん診療施設で、1990年から2023年の間に横紋筋肉腫と診断され、治療を受けた患者を対象とします。

【方法】

対象患者について、診断までの経緯、診断までの期間（症状出現から診断まで、および治療開始まで）、初回治療法の詳細、組織型、病期、リスク、予後に関するデータを診療録から収集します。また、収集したデータをもとに、後ろ向き解析を実施します。

【研究対象者】

対象疾患名: 横紋筋肉腫

診療期間: 1990年～2023年

予定登録数: 九州がんセンター 20症例（多施設を含めて全体で80症例）

【研究の意義】

本研究は、AYA世代を含む横紋筋肉腫に関する予後因子の解析を行う初の試みの一つであり、これにより得られる知見は、治療法の改善や患者の生活の質向上に役立つと期待されます。また、本研究は多施設共同研究として実施され、得られたデータは、今後の横紋筋肉腫に関する治療ガイドラインの改訂や、新たな治療戦略の策定に貢献します。

研究参加について（オプトアウトの説明）:

本研究は、患者さんの診療録データを後ろ向きに解析するものであり、直接的な患者負担や医療行為を伴いません。また、データは匿名化された状態で使用され、個人が特定されることはありません。研究への参加を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先:

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 小児・思春期腫瘍科 医長 古賀 友紀

TEL 092-541-3231, FAX: 092-542-8503

811-1395 福岡市南区野多目 3-1-1

koga.yuhki.yr@mail.hosp.go.jp

研究期間:

本研究の実施期間は、院長許可日から2025年12月31日までです。